

<マッサージチェアの歴史 = フジ医療器の歴史 フジ医療器 60年の歩み>

マッサージチェアの歴史は、今から60年前に遡る。1954年、フジ医療器創業者の故・藤本信夫が、街角で拾った野球ボール、車のハンドル、自転車のチェーン等の廃材からマッサージチェアを開発。銭湯を中心に営業活動を行って徐々に販売台数を伸ばし、マッサージチェアを一般に広める土台を作った。その後マッサージチェアは、新機能を追加しながら画期的な進化を遂げ、全身を包み込む現在のよう形になった。



フジ医療器第1号機

1954年製作
創業者 藤本信夫が不用品や廃品を集めて作った試作品を経て製品化した木製マッサージ機。



かあさん

1970年発売
“もみ”機能を追加し、“もみ”と“たたき”が一台できる「夢のマッサージ機」として発売。



Dr.ローラー FP-401

1979年発売
ローラー式の誕生で“もみ”“たたき”式しかできなかった技術が大きく飛躍。リクライニングも可能に。



ロイヤルチェア MC-133

1995年発売
業界初のエアバッグのみを使ったマッサージチェア。従来品にはなかった下半身(もも・脚)へのマッサージが画期的だった。



CYBER-RELAX AS-860

2014年発売
「高機能をもっと使いやすく」するため、光で操作をガイドするLEDリモコンを新開発。



CYBER-RELAX AS-960

2013年発売
「超極上」をコンセプトとして開発された、マッサージチェア最高峰モデル。



CYBER-Relax AS-001

2001年発売
体型を感知し最適なマッサージプログラムを選ぶ「3Dポイントナビセンサー」など、多くの「業界初」の技術を搭載。